



平成22年7月30日

各位

上場会社名 新和海運株式会社
 代表者 代表取締役社長 杉浦 哲
 (コード番号 9110)
 問合せ先責任者 企画グループリーダー 井原 隆史
 (TEL 03-5290-6291)

業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年4月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	56,000	3,500	3,000	1,700	10.50
今回発表予想(B)	58,000	3,800	3,700	2,700	16.68
増減額(B-A)	2,000	300	700	1,000	
増減率(%)	3.6	8.6	23.3	58.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	45,600	2,450	1,926	1,476	9.11

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	110,000	7,000	6,000	3,500	21.62
今回発表予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	95,106	4,796	4,053	1,215	7.50

修正の理由

第1四半期連結累計期間は、鉄鉱石を中心とした海上輸送貨物の荷動き回復を受けて海運市況は上昇基調にあり当社外航海運事業は堅調に推移しました。第2四半期連結会計期間につきましては鉄鉱石価格交渉の影響もあり、ケープ型撒積船を中心としたドライバルク市況が下降しており不透明な部分もありますが、第1四半期連結累計期間の業績を織り込んで、第2四半期連結累計期間の連結業績見通しを上述の通り修正いたします。前提条件としては、対ドル円換算率を88円(前回発表予想前提比2円高)、燃料油価格を内地C重油価格トン当たり500ドル(前回発表予想前提比40ドル減)へと見直しております。

なお本年5月20日付け開示しました「新和海運株式会社と日鉄海運株式会社の合併契約締結について」にてお知らせの通り、当社は今年10月1日を以って日鉄海運株式会社と合併予定ですが、合併後の業績につきましては本合併の会計処理による影響等不確定な要素が多く、現段階では算出困難な状況にあります。そのため前回発表した通期連結業績予想数値は一旦取り下げることとし、当該合併効果を反映した予想数値を第2四半期決算短信において公表する予定です。

● 配当予想の修正について

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年4月30日発表)	—	0.00	—	4.00	4.00
今回修正予想	—	0.00	—	—	—
当期実績	—	—	—		
前期(平成22年3月期)実績	—	—	—	2.00	2.00

(注1) 上記の配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の配当額は今後の様々な要因によって予想数値とは異なる場合があります。

(注2) 当社は定款において第2四半期末および期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

修正の理由

当社では年間配当の配当性向を「連結業績ベースの概ね20%」としており、また中間配当額につきましては上期業績の推移ならびに下期業績見込の見直し等を考慮して判断することとしております。

しかしながら前頁「業績予想の修正について」にて説明の通り、合併後の業績につきましては現段階では算出困難であり、通期連結業績予想数値の公表を見送らざるを得ない状況にあります。そのため第2四半期末につきましては前回予想と同じく無配のままとするともに、期末配当につきましては前回予想を一旦取り下げ、当該合併効果を反映した配当予想を第2四半期決算短信において公表する予定です。

以 上